

DATA in 九州

今月の注目データ

今月は「カステラの年間消費額」と「クルーズ船の九州への寄港回数」です。



カステラ

検索 



クルーズ船

検索 



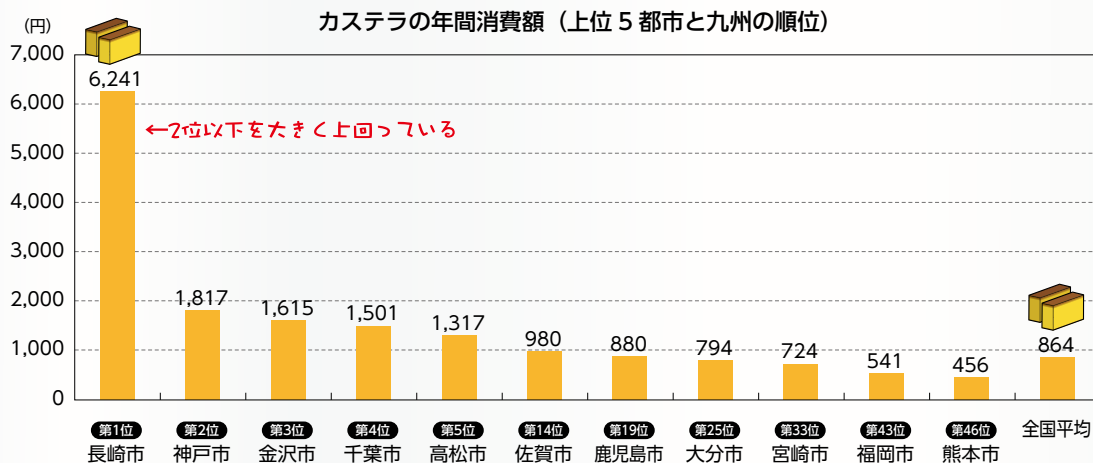
カステラ消費額





カステラの年間消費額

カステラは、南蛮貿易で賑わう長崎に伝来したお菓子を改良して生まれたと伝えられています。その名前の由来は定かではなく、当時栄えたスペインの王国名“カスティージャ”に由来しているとも言われています。ここで、カステラの年間消費額を見てみると、1位である長崎市は2位以下を大きく引き離しており、年間6,241円もの消費額を誇っています。旧長崎街道であるシュガーロードの代表的なお菓子文化が長崎市には根付いていると言えます。



(出所：2011年総務省「家計調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

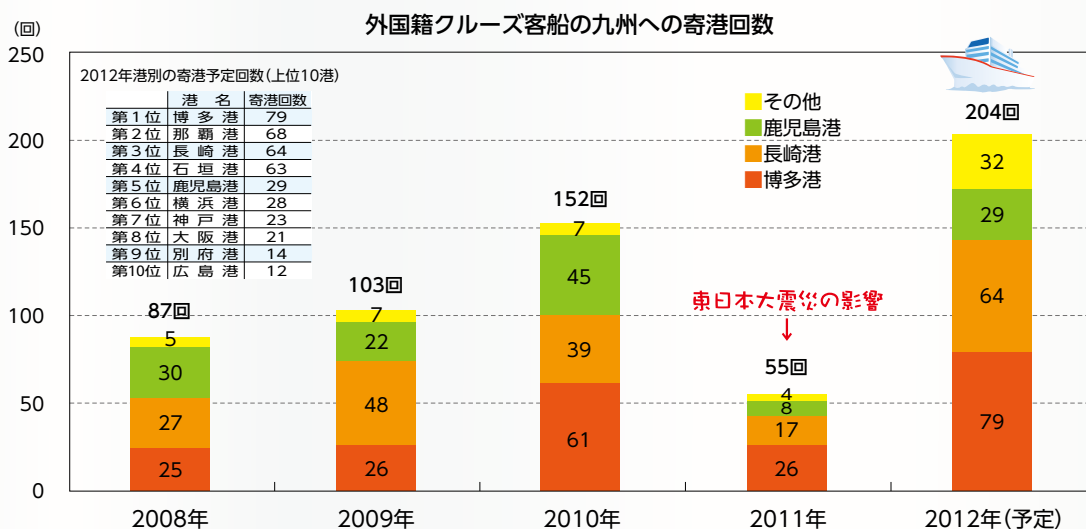


クルーズ船の九州への寄港回数

ここ数年、豪華クルーズ船の九州への寄港が増えていきます。現在、アジア航路の人気は高く、2012年の九州への寄港回数は、過去最高の204回が予定されています。

九州へ寄港するクルーズ船の多くは、中国を発着とする4泊5日のショートクルーズが主流です。上海を出発して、韓国の済州島と福岡（博多港）に寄港し、上海に戻る4泊5日の船旅です。上海から北海道や東京に寄港するには日数がかかる為、中国に近い九州の魅力が高まっていることが背景にあります。

九州へのインバウンドの増加が、国際交流の拡大と地域経済の活性化に繋がっています。



※2012年7月6日現在 (出所：国土交通省九州運輸局資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

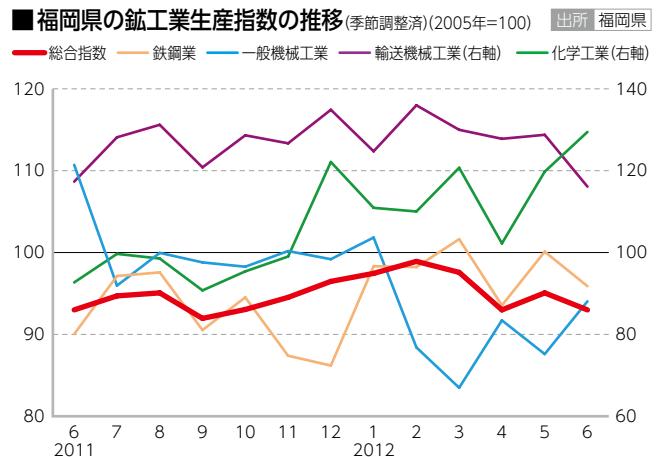
福岡県の景気 | 持ち直しの動きに一部弱い動きが見られる

公共工事は5ヶ月連続で前年を上回ったものの、生産面で自動車の減産に伴い輸送機械や鉄鋼に弱い動きが見られる他、大型小売店販売額や住宅投資でも前年割れの状態となる等、福岡県の景気は、総じて持ち直しの動きに一部弱い動きが見られます。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.0となり前月比2.1%低下しました。

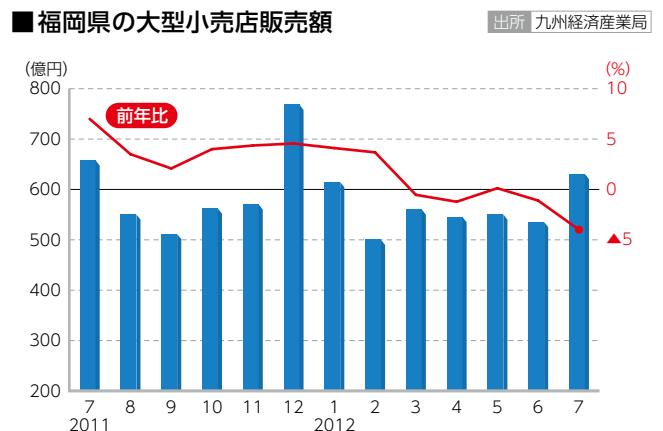
主要業種では、半導体製造装置等が増産となった一般機械や、医薬品等の生産が増加した化学が上昇。一方、普通自動車等が減産となった輸送機械や、自動車向け特殊鋼等の生産が減少した鉄鋼が低下しました。



2.大型小売店 | 2ヵ月連続で前年を下回る

7月の大型小売店販売額は、前年同月比4.0%減の631億円で、2ヵ月連続で前年を下回りました。

夏のセール等を要因として前月比で増加しましたが、前年比では、天候不順等により主力の衣料品や飲食料品が低調となった他、家電が前年の地デジ対応特需の反動により大幅減となりました。



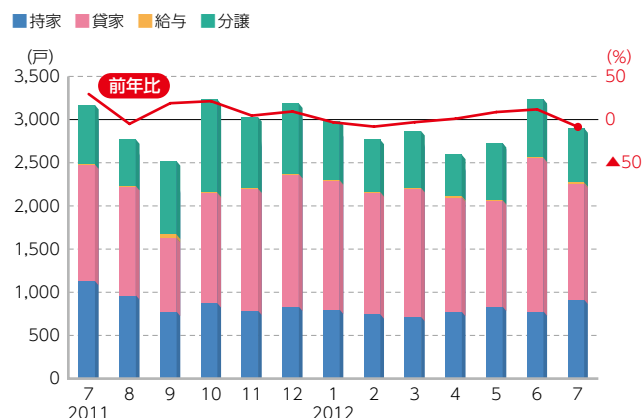
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、2,899戸と前年同月比8.5%減少し、4ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、足許では、消費増税前の駆け込み需要を見込んだマンション開発計画が発表される等、着工数増加に向けた動きが見られます。

「持家」「分譲」は、昨年7月末が住宅エコポイント制度の着工期限であったことから、同月に駆け込み着工が発生しており、その反動で前年を下回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



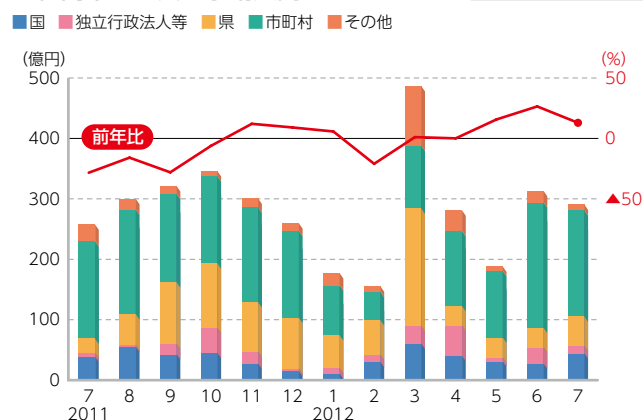
4.公共工事 | 5ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比6.6%増の724件、金額は同12.8%増の291億円となり、請負金額は5ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、中学校改築工事等の大型案件のあった「市町村」が前年比で増加した他、都市再生機構による福岡駅東地区土地区画整理事業等のあった「独立行政法人等」や、五ヶ山ダム堤体工事等のあった「県」も前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



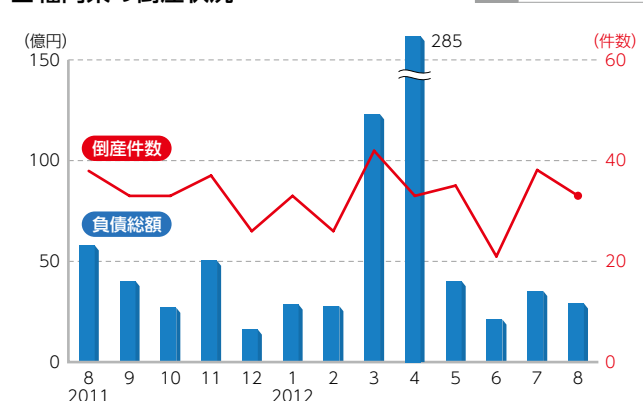
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比13.2%減の33件、負債総額が同50.0%減の約29億円となりました。

卸売業、建設・建築関連企業で、販売不振を原因とする不況型の倒産が発生していますが、中小企業金融円滑化法等の金融支援制度が倒産抑制に寄与し、負債総額は総じて低い水準で推移しています。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きに一部減速が見られる

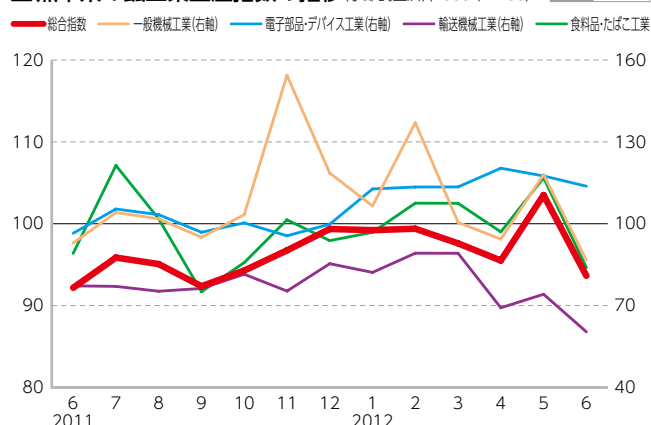
公共工事は2ヶ月連続で前年を上回ったものの、生産面で半導体製造装置等が減産となった一般機械に弱い動きが見られる他、大型小売店販売額や住宅投資でも前年割れの状態となる等、熊本県の景気は、総じて持ち直しの動きに一部減速が見られます。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.6となり、前月比9.6%低下しました。

主要業種では、半導体製造装置等が減産となった一般機械が低下した他、二輪車の生産が低調な輸送機械、及び、パソコンや家電向け半導体を中心に海外受注が減少した電子部品・デバイス等が低下しました。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 熊本県



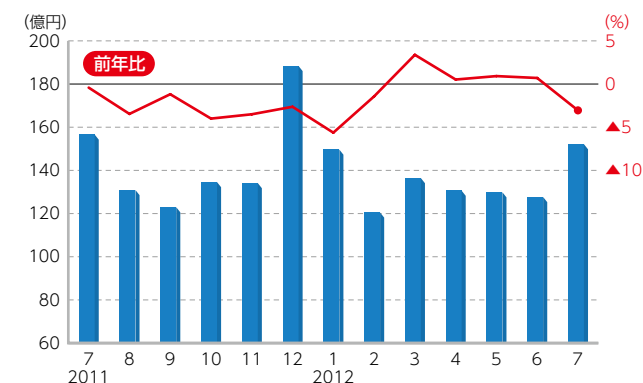
2.大型小売店 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の大型小売店販売額は、前年同月比3.0%減の152億円と、5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

夏のセール等を要因として前月比で増加しましたが、前年比では、天候不順等の影響により主力の衣料品や飲食料品が低調となった他、家電が前年の地デジ対応特需の反動により大幅減となりました。

■熊本県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



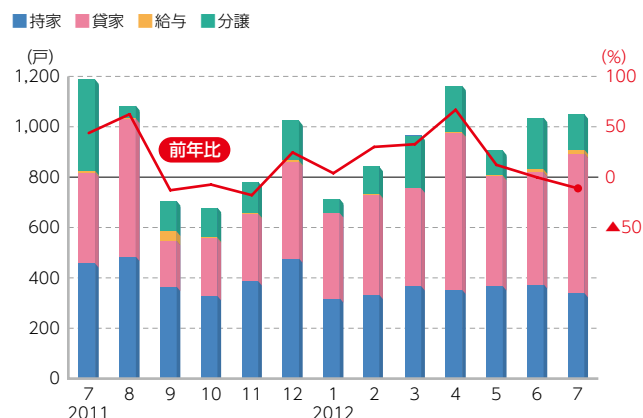
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、1,050戸と前年同月比11.5%減少し、2ヵ月連続で前年を下回りました。

「貸家」は、前年を上回ったものの、「持家」「分譲」は、住宅エコポイント制度の着工期限であった前年同月に大幅に増加した反動で、前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



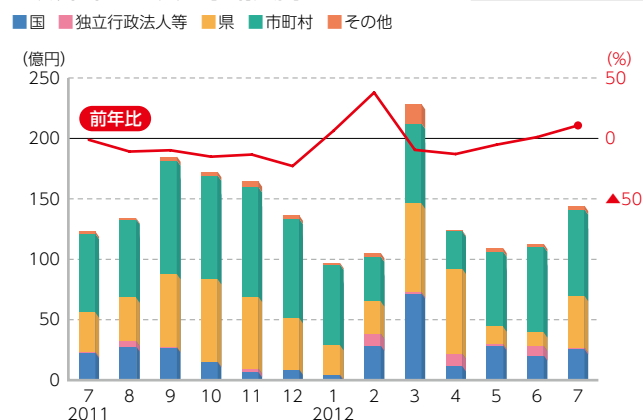
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比3.1%減の467件、金額は同10.8%増の144億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、トンネル工事等の大型案件のあった「県」が前年比で増加した他、八代港浚渫工事のあった「国」も前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



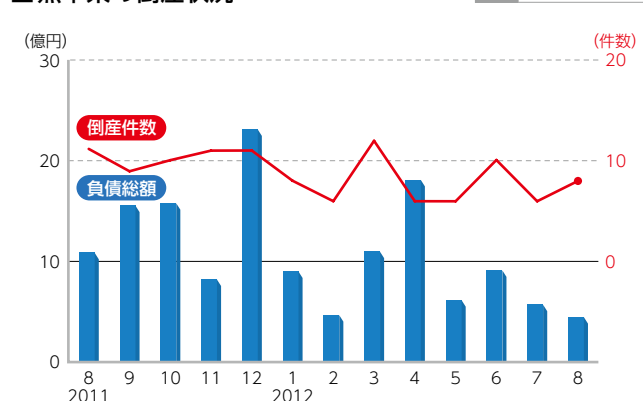
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

8月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比27.3%減の8件、負債総額は同59.7%減の約4億円となりました。

建築業等で、販売不振を原因とする不況型の倒産が発生しているものの、中小企業金融円滑化法等の金融支援制度が倒産抑制に寄与し、負債総額は概ね抑制された水準で推移しています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

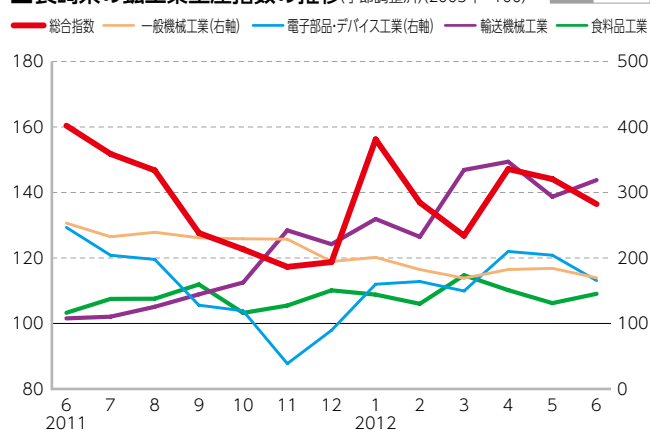
大型小売店販売額や公共工事は低調に推移したものの、生産面で新造船が高操業を維持している他、住宅投資でも3ヵ月連続で前年を上回る等、長崎県の景気は、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いています。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で低下

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は136.7となり、前月比5.3%低下しました。

主要業種では、新造船が増産となった輸送機械や、食料品が上昇した一方、海外需要の減少で半導体集積回路が減産となった電子部品・デバイス等が低下しました。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 長崎県

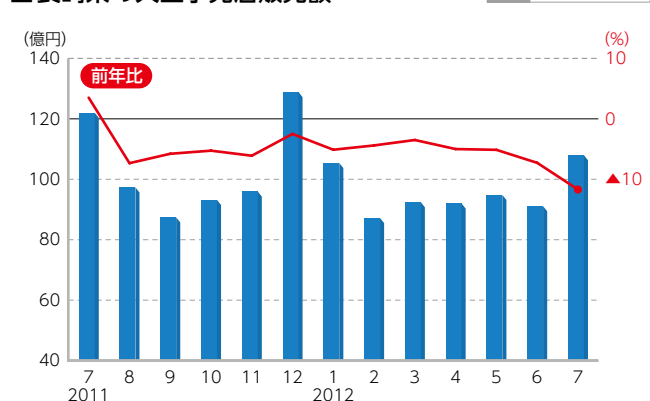


2.大型小売店 | 12ヵ月連続で前年を下回る

7月の大型小売店販売額は、前年同月比11.6%減の108億円と、12ヵ月連続で前年を下回りました。

夏のセール等を要因として前月比で増加しましたが、前年比では、昨年7月末の百貨店閉店の影響が大きい他、天候不順等の影響も重なり、主力の衣料品や飲食品が低調に推移しました。また、家電が前年の地デジ対応特需の反動により大幅減となりました。

■長崎県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局





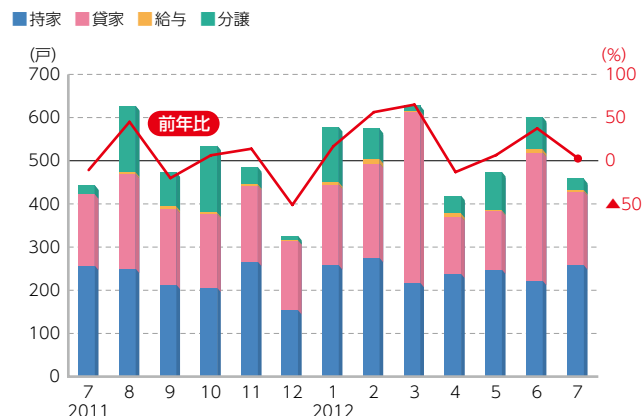
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、458戸と前年同月比3.4%増加し、3ヵ月連続で前年を上回りました。

「持家」は前年並み水準となったものの、「貸家」「分譲」が前年をわずかに上回り、全体でも前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



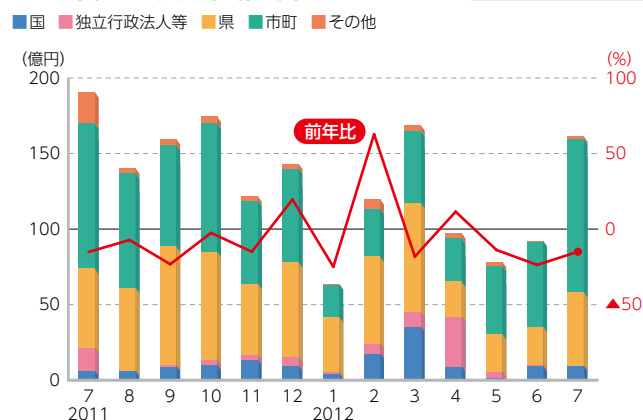
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比0.6%減の461件、金額は同15.3%減の161億円となり、請負金額は3ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、前年同月に新幹線関連の大型工事のあった「独立行政法人等」が反動から前年同月比98.0%減となった一方、小学校給食センター新築工事等の大型案件のあった「市町」が前年比増加し、請負金額は前月比で大幅増加しています。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



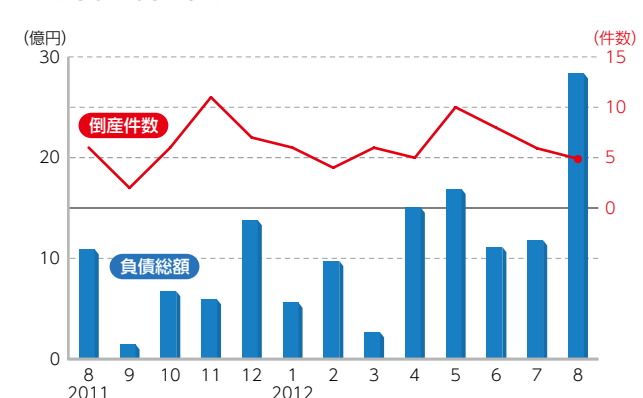
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比16.7%減の5件、負債総額は同160.8%増の約28億円となりました。

ホテル運営会社の特別清算(負債額約26億円)により、負債総額は前年を大きく上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

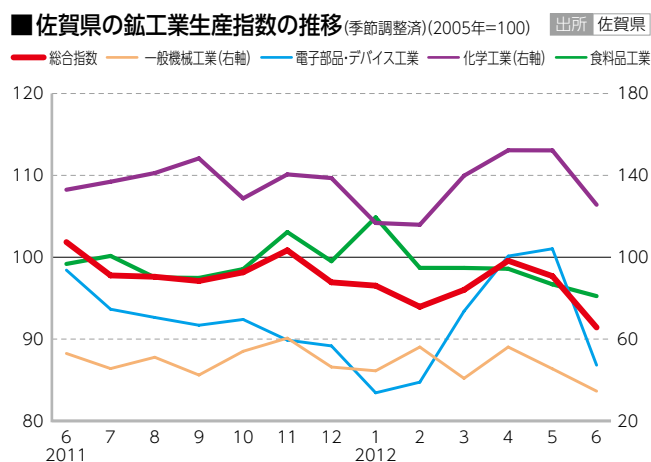
佐賀県の景気 | 持ち直しの動きに鈍化の兆しが見られる

公共工事は3ヶ月連続で前年を上回ったものの、生産面で化学や電子部品・デバイスに弱い動きが見られる他、大型小売店販売額や住宅投資でも前年割れの状態となる等、佐賀県の景気は、総じて持ち直しの動きに鈍化の兆しが見られます。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で低下

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.5となり、前月比6.4%低下しました。

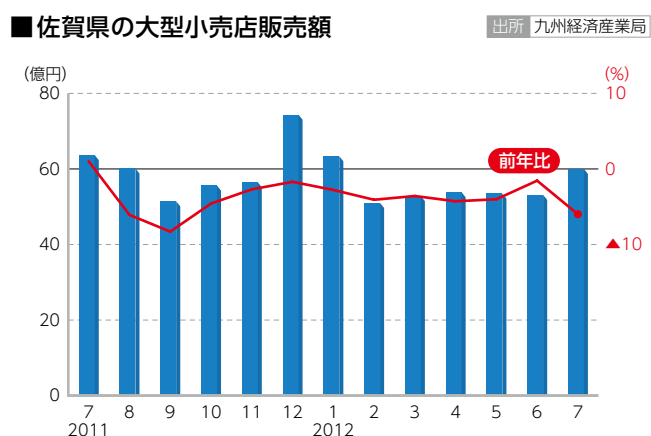
主要業種では、化学や電子部品・デバイス、一般機械が大幅に低下した他、食料品もわずかに低下しました。



2.大型小売店 | 12ヵ月連続で前年を下回る

7月の大型小売店販売額は、前年同月比5.9%減の60億円と、12ヵ月連続で前年を下回りました。

夏のセール等を要因として前月比で増加しましたが、前年比では、月中旬までの天候不順等により、主力の衣料品や飲食料品が低調となった他、家電が前年の地デジ対応特需の反動により大幅減となりました。





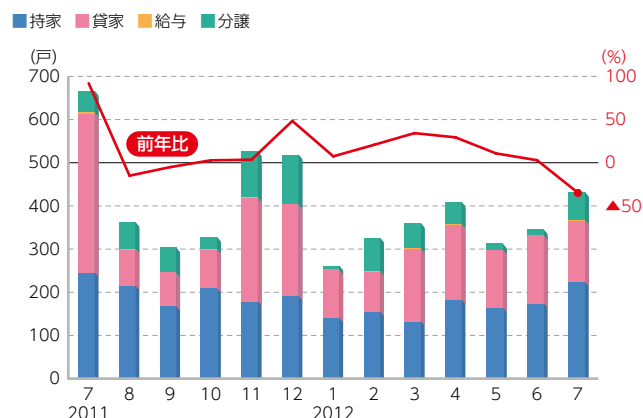
3.住宅建設 | 10ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、432戸と前年同月比35.1%減少し、10ヵ月ぶりに前年を下回りました。

「分譲」は、前年を上回ったものの、「持家」「貸家」は、昨年7月末が住宅エコポイント制度の着工期限であったことから、同月に駆け込み着工が発生しており、その反動で前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



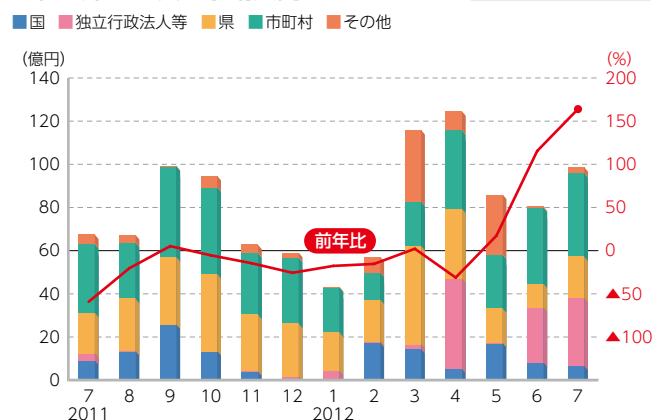
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比36.4%増の270件、金額は同46.5%増の99億円となり、請負金額は3ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、佐賀大学医学部付属病院等の大型案件があった「独立行政法人等」が前年比で増加した他、「県」「市町村」も前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

8月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比33.3%減の4件、負債総額は同85.7%減の約4億円となりました。

建設業で約2億円の倒産があったものの、中小企業金融円滑化法等の金融支援制度が倒産抑制に寄与し、件数、負債総額ともに低い水準で推移しています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

